

## 【町田市社会参加推進事業】

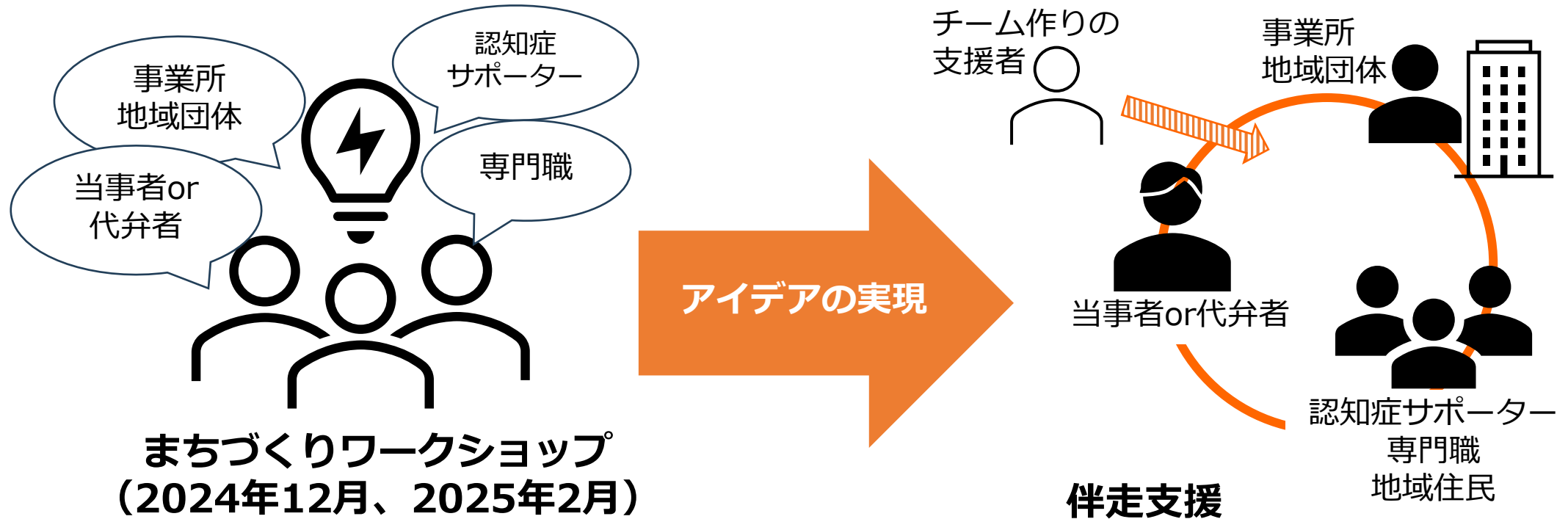
本人の想いを中心に、地域の関係機関や地元企業が協力しながら、誰もが地域の一員として自分の役割を持って暮らしつづけられるまちづくりが求められている。

地域の様々な関係者が連携して認知症の人の社会参加を推進するため、2024年度から東京都において、「認知症のある人の社会参加推進事業」が開始された。

町田市は、「認知症のある人の社会参加推進事業」のモデル自治体として、認知症の人の社会参加を支援するため、認知症の人がやりたいことを、受け入れ先団体や認知症サポーター等の支援者と共にチームで実現するための事業を実施している。

# これまでの経過

町田市では、毎年、行政を含む地域が一体となり、まちづくりを推進するための認知症とともに生きるまちづくりワークショップを実施している。2024年度のワークショップにおいて、認知症の人が地域の一員として自分の役割を持ち、社会参加することを支援するためのワークショップを実施した。



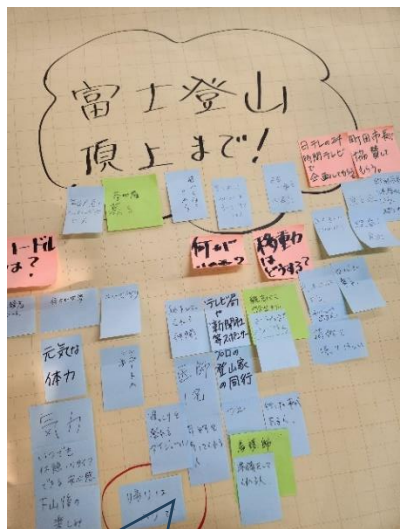
認知症の人のやりたいことや認知症の人とできることのアイデア出しを行った。

- ・ チームの結成をコーディネート
- ・ チームによるアイデアの実現

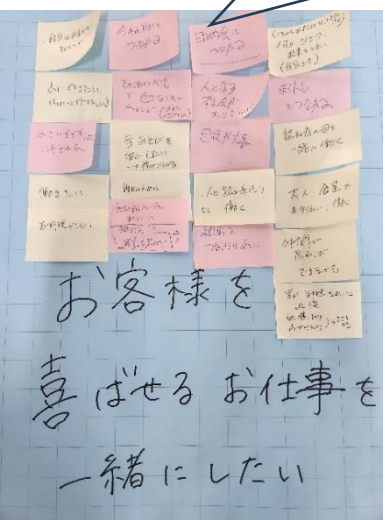
# ① 認知症とともに生きるまちづくりワークショップ（2024年12月） ——認知症の人の社会参加の推進

## 【ワークショップで挙がった“やりたい”思い】

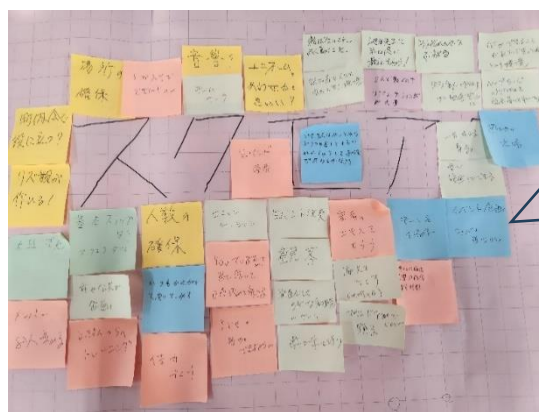
認知症の人のやりたいこと、認知症の人とできることについて、アイデア出しを行い、“やりたい”思いを分類した。



お客様  
を喜ばせる  
仕事を一緒  
にしたい



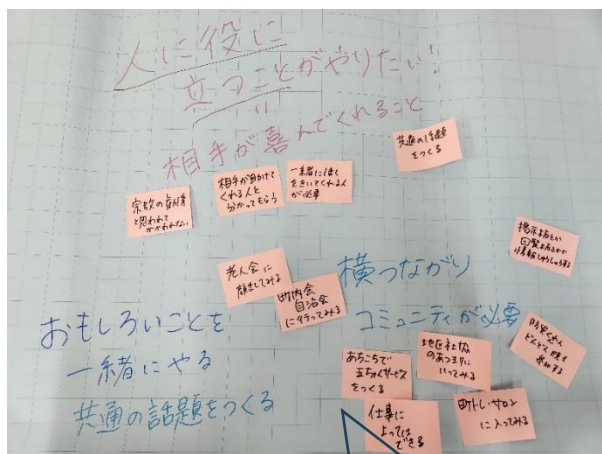
富士登山  
頂上まで!



スクエア  
ダンス



コンサート  
に行きたい



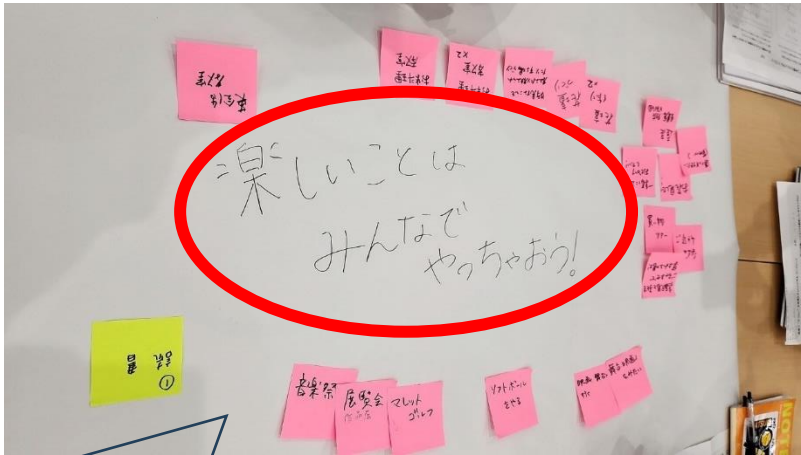
人に役に立つ  
ことがやりたい

## ② 認知症とともに生きるまちづくりワークショップ（2025年2月） ——認知症の人の社会参加の推進

### 【“やりたい”を実現するためのチーム】

1回目のワークショップにおいて挙げた、認知症の人の“やりたい”思いを実際の活動に繋げるため、2回目のワークショップを実施。このワークショップにおいて、2つのチームが立ち上がり、それぞれのチームでどのような活動ができるのかについて検討した。

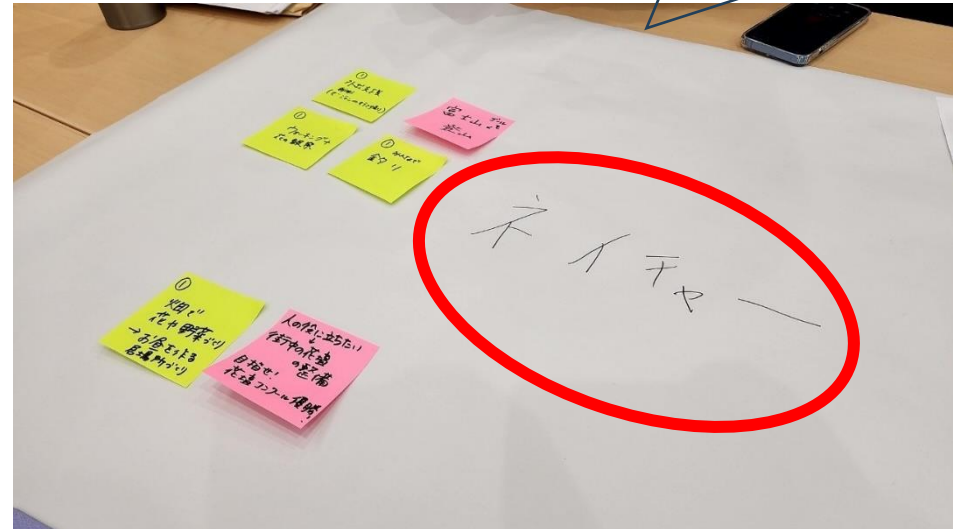
楽しいことはみんなでやっちゃおう！



- ・展示会
- ・読書
- ・料理教室
- ・多世代交流ができる場所 など

- ・登山
- ・お花見
- ・花壇の整備
- ・買い物ツアー など

ネイチャー



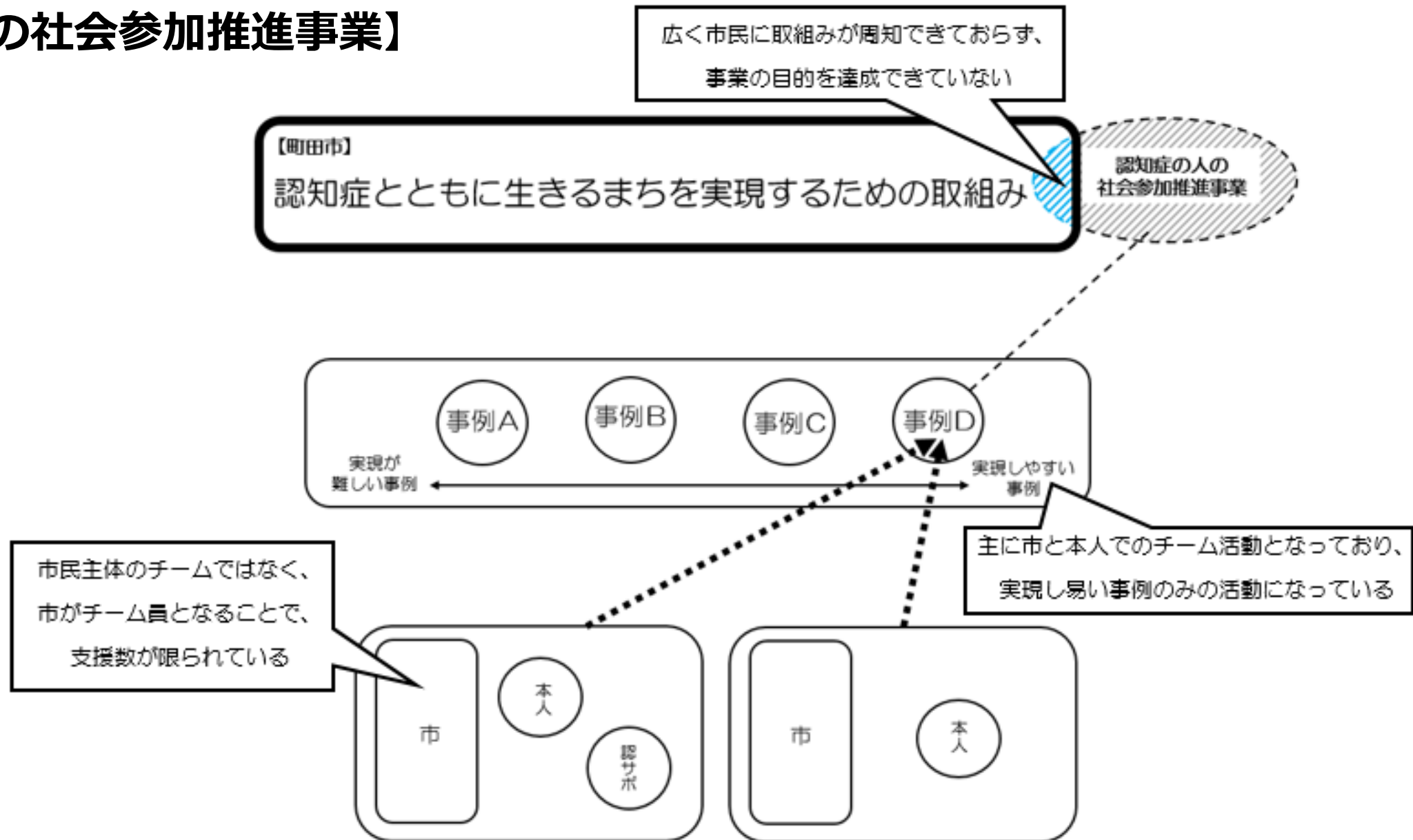
# 2025年度：認知症の人の社会参加推進事業の取組

ワークショップにおいて挙げた“やりたい”思いを分類し、その希望を実現するために、現在は、2つのチームが活動している。

分類	チーム名称	活動内容	活動回数 (2026年1月末時点)
室内活動や 居場所づくりをしたい	楽しいことは、 みんなでやっちゃおう！	室内レクリエーション (カードゲーム、裁縫、音楽など)	8回 (6月、7月、8月、9月、 10月、11月、12月、1月)
アウトドアや 屋外で活動したい	ネイチャー	スポーツ活動 (キャッチボール)	3回 (9月、11月、1月)

# 2025年度に把握した課題

## 【現在の社会参加推進事業】

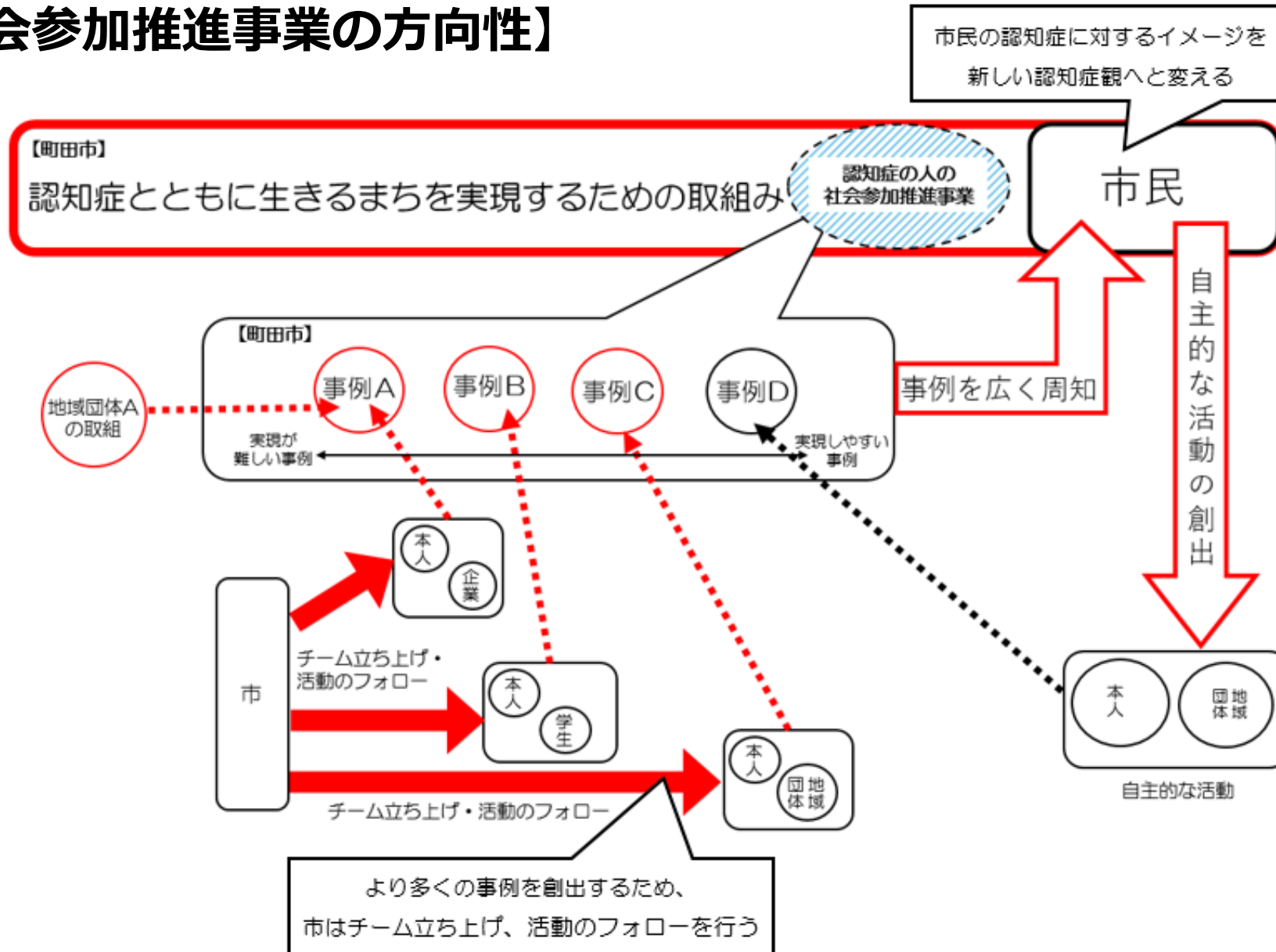


## 2025年度に把握した課題

- (1) 市民主体のチームづくり
- (2) 取組みの周知による「新しい認知症観」の普及啓発
- (3) 実現した事例の共有による取組みの拡大
- (4) 様々な場面での活動事例の創出（内容・件数）

# 認知症の人の社会参加推進事業について

## 【町田市】の社会参加推進事業の方向性



町田市为社会参加推進事業の方向性に対し、  
ご意見をお願いします。